

議会基本条例推進委員会記録（要旨）

日時 平成28年5月24日（水）
9時30分～10時31分
場所 第1委員会室

出席者 根岸委員長 野地副委員長 桑原委員 小笠原委員 二見委員 前田委員
杉崎委員 二宮委員 添田議長
欠席者 善波議員
傍聴議員 渡辺議員
事務局 安藤局長 椎野課長
傍聴者 なし

○委員長 これより委員会を開会する。先日議会報告会を3か所で行った。本日は議題には書いていないが、資料を配付している3か所の意見交換会の内容、アンケートを集約したものである。事前に皆さんにはホームページ掲載用としてこの2種類の資料、報告会の議事録を送信している。基本的には修正はないということで、今日承認をいただければ、掲載をする。3か所の報告会を踏まえての反省、それに基づき今後どうするかということ。

また、今後は、6月、12月の意見交換会のあり方をどうするかということを決めたい。まずは3か所を通して、皆さんからの意見を伺いたい。

○野地 全体の感想としては、来ていただいたかたが多かったことが良かったと思う。ただ、アンケートより、どのように知って来たかというところで、知人に聞いたという所が1番多い。そうすると、今後このようなことを行う場合、発信の仕方をどうするかということを変更して議論したほうが良いかと思う。

また、受付票について、書く必要があるのかという意見をいただいた。個人情報になるので、今回の受付以外には使用しない旨の記載をすべきとの指摘も受けた。この受付票についての意見もほしい。

○委員長 今までの中で反応はよかったかなとは思っている。

○小笠原 報告会について、町民の皆様がどこまで納得いただいたのかということとは把握しきれないが、意見交換会についてはとても有意義であったと思う。専門の方もいらしたので、それはありがたい部分もある。町民の皆様がよく分からない状況で歯がゆく思っているのか等、肌を感じることができた。

○二宮 下水道料金の値上げに関してだが、平均的な数字で説明をいただいた

が、委員会で細かく何%というのが出ていたということは、あのような席上では説明はできないものなのか。というのは、最終的に小笠原議員が、あれは平均的な数字であるという回答をし、質問された方は納得をなさった。やはりそういう点まで説明があり、納得される内容であると思うが、私も事情がよく分からないが、できれば委員会を出した一覧表を出せなかったのか。

○議長 質問の意図がよく分からない。あれだけを出しても意味がないと思うが。

○二宮 1番聞きたかったことではないか。平均で13.1%の値上げをするが「平均」という言葉もついていたか。

○議長 表では、違いがほとんど見えない。四捨五入していると見えないくらい小さい。それを出しても意味がない。彼らは、なぜ下水道料金の値上げが必要かという、程度の問題ではなく、なぜ必要なのかということが質問の趣旨だと思う。

○委員長 最後委員長の回答の後「いいです」という回答で終わった。納得できないというか、事前の広報が足りないという所の気持ちで言っていた。

○二見 今回常任委員会の報告はなかった。今後は、議論、討論、町民に直接影響することが委員会であった場合、それを報告会で常任委員会として取り上げ、説明をするかどうかを決めた方がいいと思うが。今回はたまたま下水道の質問が出た。出なければ報告のみで終わってしまっていた。今後の課題だと思う。

○議長 最初の質問については、表を出すことに何の問題もない。出すのであれば出せばいい。二見委員の話であるが、根岸委員長の説明の中で、今回の予算の重点項目はこれという所に、この値上げについてが入っていた。なぜ予算の重点項目に入っているのかという質問が出ており、本来やらなければいけなかったのであるが、表を出すのであれば想定質問を今までは考えていたが、今回はやっていなかった。説明で出す項目に対しての質問は想定して資料を持っていくべきである。その点の自覚はしたのではないか。

○二見 課題のあるものは、委員会で資料を持っていき、回答ができる体制を作っておくことをしっかりやっていくべき。

○小笠原 限られた時間の中で、報告会の時間を短くし、意見交換会を長くするとしたので、優先順位がある。大事な部分はやりたいという抽象的な言いかたであったが、大事なものの価値観が違う。とても難しい。議会報告会の位置づけは新聞の見出しを皆さんにお見せするということが良いのではないか。町民が、議会はこういうことで問題になったのだなという理解をした時点で、自分が支援した人がどのような立場で動いたのかなど、あとは自身の支持者のかたを呼んで、議案書を読み、丁寧に説

明をしてもらおうということではないか。

○議長

それをあの場で答弁してよいのか。できるのか。

○小笠原

何を選んでいくかという時には、完璧なものをするには限られた時間であるので、優先順位を決めて、期待をされても1時間では消化しきれないので、そういう考えでいくしかないのではないかということである。

○委員長

私は全く逆で、見ている資料、出す資料、これは質問が出るだろうと、少なくとも資料を持って行って、あの場で質問が出るだろうという想定は必要。

○小笠原

想定される質問に対する資料を持っていくのは当然である。私は常任委員会の委員長であるので、計画書等は持って行った。

○議長

想定できていない、用意できていない質問に対しては「後日調べて回答します」と答えている。今回の場合でも、本当に分からないもの、執行者側へ聞かなければならないことが出てきたら、後日回答をホームページに掲載すると回答している。

○小笠原

今回はそのようにしないとされたのか。そのように聞こえるが。

○議長

そういう質問が出なかった。そこまでの質問は出ず、答えられるような質問であっただけ。そこで全く資料がなく回答できない、執行者へ確認しなければならない質問に対しては、後日回答するとしていた。

○委員長

前回、今回も行っていない。それはなくしていくべきとして話は進んできた。どうしてもその場合はそうなるという話であった。

発表の時間としては、タイトル程度になっても時間内に納めて発表をする。答弁の資料は準備をして、その場で回答できることは回答するということになるが、そこに常任委員会や本会議で議論、町民にとって必要な情報という部分は、委員長、議長が説明を加える方法にするのか。

○二見

私が言っているのはあくまでも提案である。議長が言われるように想定問答集を作成しておき、委員長が説明をしながら、質問があれば委員長が回答するのも一案。町民にとって影響があるものについては、委員長の報告とは別に、委員長が説明をする。

○委員長

今日は、時間内に発表を納めるということを優先して、次回の9月議会前の議論に持っていくことになる。簡単な発表と答弁の資料を用意するというだけでよいか。

○野地

2時間という枠の中で、どのような配分をするかとしてやっていた。今回は20分を報告会、100分を意見交換会にしたが、報告会として行うには20分は短い。行政報告のようなところで終わってしまったという所でもある。議会ではどのような意見が出たのか聞きたいというかたもいた。そうするには、この時間の割合を変えるしか方法がない。6月、12月に意見交換会という時間を持つのであれば、報告会としては時間を確保して、経緯の説明等に充てないと、報告会として弱いものになってしまうと思った。2時間を3時間にするといい議論もあるかもしれない。

いので、その話がないと内容まで入っていけないのではないかと思う。

○二見

時間の割り振りについて、山西の日は予算全般のグループに入っていた。そこへ来た町民のかたは1人であった。最初はそのかたも自分の意見は言っていたが、時間が余ってしまい、こちらから投げかけをしてやっと時間を終えたということがある。その辺のことも考えてほしい。

○委員長

それは意見交換会の話であるが、議会報告会ではもっと情報提供をした方が良くということになるのか。

○二見

時間の割り振りということはもちろんあるが、現実にあった割り振りの中で、時間が非常に余ったグループもあるということを示し上げただけである。副委員長は、20分、100分の割り振りを変えたらどうかという話があったので、うちのグループは1人しかおらず、時間が非常に余ったので、参考として言ったということ。

○委員長

テーマを2つ設けたという所もある。

○小笠原

議会報告会を短くしようということは、色々な試行錯誤の中で議会報告会を短くしたわけである。予算組みだけを説明するのならば、行政の説明を聞けばいいだけで、議会が同じことを言っても意味がないところで、20分としたわけであるので、20分に見てもいいけれども、アンケートで、時間はちょうど良いと回答したかたが多いと思うので、別にアンケート結果を尊重し、また我々の感覚からも今回の議会報告会の時間は妥当ではないかと思う。

○委員長

時間配分については、アンケートを見てもよかったのかなと思う。中身に至らない点があったのかと思う。

○二見

山西の時、報告会で下水道の質問が多く出ていたが、何分だったのか。

○委員長

時間については記録が出てきてない。

○二宮

下水道料金値上げを否定するものでも、何でもないが、あまり細かく見ると、議長が数字的には変わらないといったところもあるが、一般町民からすると、一体お金がいくら上がるのかという自分の立ち位置が知りたいと思うので、生活に配慮した委員会の決定であるという、平均ではなく、使用料によって違うということが分かった方がよいと思ったので、資料があった方がよいと思った。

○委員長

今はその議論ではなく、運営についてである。

○議長

今回の時間配分については、あれで良かったと思う。議会報告会は予算で行っているが、何か報告しようということであれば、手を挙げて報告すればいいわけで、全部は報告できない。時間配分はあれでいいし、野地副委員長が言ったが、やはり来る目的が違う人がいるわけである。報告会に重点を置いている人、意見交換会に重点を置いている人。両方一遍に行うのであれば、今回の時間の配分くらいで、1つのテーマでやる程度が良かったと思う。感想である。

○小笠原

次に向けて意見を申し上げたい。先日町民側がテーマを決めて呼んだ

移動町長室を傍聴させていただいた時に、非常に有効な会であったと思った。町長側が行う移動町長室は、予算書を順に説明するような会では面白くない。一色で地域包括ケアシステムについて理解をしないと。そこへ役場の職員も行くが、議員も呼ばれていって時間をかけてお話しさせていただくと。テーマがあり、10人以上いれば行かせていただくということも考えてはいいのではないかと思う。

○委員長 先ほどの件であるが、基本的には時間配分をこのようにして、比較的に上手くいったのは、桑原委員長が資料を用意していたということもあったかと思うので、今回のようなやり方で、ついでには次も基本的には考えていくということで決めたい。これは9月定例会の報告会の時に持ち越させていただきたい。

それから反省については、いかがか。

○二見 議会だよりの発行と報告会の開催日程があまりなかったということで、9月議会後の議会だよりの発行と報告会の日程をしっかりと計算していかないとまた言われてしまうので、その点をしっかりお願いします。

○野地 確かに、二見委員が言われたとおり、問題になった。今後は、基本的に9月議会発行後、皆さんに届いた後に開催するのか、それは気にせずに行うのか、委員会としての結論を出しておきたい。

○議長 それはかなり前に議論されており、議会だよりの発行後に報告会を開催するという前提である。

○小笠原 二見委員の話は、発行後ではあるが、間が短いので読み込めないし、配布委員の仕事の都合もあるので、手元に届かないのではないかという意味合いでの話かと思うが、そうすると、どんどん議案の賞味期限が切れると思うので、9月で審議したものが10月末の25日に発行されるわけであるが、それを過ぎると11月になってしまうので、説明会に来た時に、手元にあれば十分だと思う。色々な意見もあると思うし、読みこなして、質疑をしたいというかたも中にはいらっしゃると思うが、大方は気が抜けた議会報告を望んでいないのではないかと感じている。

○前田 分かれてのテーマであるが、議会だよりの内容は特になくても自分が行きたいテーマに沿って話し合いをしているわけで、議会だよりは25日に配布されるわけであるが、1週間もあれば議会だよりの各家庭に配布され、現実として先日の一色の時もよく読んできたからいいと言われるかたから、配布されていないかたも何人かいた。受付にいと、よく読んできたかたがほとんどいない。会場でもらえるからいいという感じのかたが多い印象を受けた。特に発行後であれば問題ないと思う。

○野地 今回については、24日、26日、28日と行っているのだから、そういう意味では完全に日程調整のミスがあった。ただ、25日の発行前に開催してしまったのは事実である。例えば、9月議会後の日程を決める際にはやはり議会だよりの発行以降を厳守し、その中で読んでいただく。少し遅

くなるが、それは仕方ないという所で、あくまでも 25 日以降に日程を調整するという事で考えたいと思う。

○小笠原

野地委員のそのようにしたいと思うということであるが、25 日以降で、こちらの都合で人が集まらないより、1 日早くても、地区長さんに声掛けをして調整をし、それでやれるということであれば、基本はそれで行くが、状況に応じ考えるということの含みを持たせるほうがよいと思う。

○委員長

ではそのように、今後は進めたいと思う。

○杉崎

修正点をお願いしたい。アンケートの 6 番について、我々は今後取り上げてもらいたいテーマを書いてほしいと言ったつもりだが、12 分の 7 が意見である。テーマではない。5 番もミスである。「意見交換会緩解」となっている。今後なおしてほしいのは、意見を書かないで、今後取り上げたいテーマについて、ご要望があれば記入くださいと、テーマだけに限り書いてもらうようにしたら良いのではないかと。

○委員長

出席者への声のかけ方を工夫する必要があること、受付簿について必要なか否か、時間配分発表についてというところにも課題があると思う。それから議会だより発行の時期、開催の日程については、25 日を基準に、地域との打ち合わせで人が集まる日程調整をしようというところに決まった。アンケートの書き方についても、テーマについてダイレクトに伺うこととし、書き直す。

○杉崎

反省点として、テーマの決め方、東大跡地と包括ケアシステムについては良いが、予算等についてだと食いつく人が少ないのではないかとと思う。その他として間口を広げる。何でもよいというチームを作ることも 1 つかなと思う。予算が魅力的ではないから、どの会場でも少なかった。その点も考えてほしい。

○委員長

それでは、反省をこれまでにし、今後の報告会・意見交換会の持ち方についてである。報告会・意見交換会を重視したいということで、6 月、12 月議会後にフォーラム形式の報告会を行ってはどうかということをして 12 月に議論し、2 月 12 日にも確認をさせていただいた。ただし、主催は推進委員会とし、これらの年間開催は試行として始めてはどうかということが、一度この推進委員会で決まっている。しかしながら、3 月議会、報告会等を経て、もう一度議論をいただき、6 月、12 月議会後の意見交換会の持ち方に対し、どうしていくかということの意見をいただいた上で、6 月議会を迎えたいと考えている。

○杉崎

この前決めたのは、やるのであれば常任委員会ごとに、1 日でやるということを決めたが。

○野地

2 月 12 日の記録では、6 月、12 月はフォーラム形式の意見交換会を行うと。常任委員会が企画、推進委員会が確認とある。また、開催要項については、3 月議会以降改めて検討するとある。6 月、12 月議会後は開催することが前提となっており、各常任委員会が企画、何をテーマに行

うのかを考える。それを委員会の中で確認をし、進めていくということが決定している。

○委員長 暫時休憩する。

暫時休憩 10時15分～10時19分

○委員長 休憩前に引き続き会議を開く。副委員長が確認した通り、6月議会後においては、意見交換会を開催する。その方法について、初めてであるので、どのように持つかということである。

○杉崎 1日で、1か所、両常任委員会の同時開催。例えば、町民センターでやるのであれば、部屋を2つ借りて同時に行うということ。時間は検討すべき。

○二見 今の意見は、常任委員会が同時刻に2か所で行うということ。先日はそれだと、傍聴できないという話もあった。決定はしていないが、それをはっきりしないといけない。総務建設経済常任委員会が行ったら、1時間後に教育福祉常任委員会が行うとか、それも案である。それを決定していない。

○議長 二見委員の時間をずらして行うという意見、それをしないといけないのではないか。町民側は議会と意見交換をするのであり、委員会と意見交換をする訳ではない。議員が全員、意見交換会を共有しなければならない。そういう意味では、時間をずらしてやるべき。みんなが議論したことを少なくとも傍聴して共有することが必要であると思う。

○杉崎 例えば、総務建設経済常任委員会を行った後、教育福祉常任委員会の委員は傍聴のみで、意見は言えないということか。

○小笠原 私たちは町民の意見を伺うために、時間を割くのは当然の義務だと思うし、自由に動ける人が委員以外にいてくれたほうが、資料等の配布をお願いすることもできる。お互いにフォローしあいながらやれると思う。

○委員長 時間をずらすという意見が多いようだと思うが。当日の開催ということはどうか。

○二見 2時間は少し長いような気がするので、1時間半くらいでどうか。

○委員長 テーマを持った時の議会側からの説明時間も含まれる。意見交換会、前は100分の時間を持って開催した。120分は長いので、90分目途でという意見が出ているので、その辺り検討しながら進めたい。他に決めておくべきことはあるか。

○野地 6月議会も始まるわけであるが、今の流れだと、各常任委員会でそれぞれテーマを決め、どうするのかということ。その内容を推進委員会のなかで、全員が共有しなければならない。確認をするという時間があるので、それは次回ということか。ある程度の日程を決めておかないと詰まってしまう可能性がある。

○委員長 日程調整だけは、この委員会が終わった後、決定する。意見交換会の日時は議会終了後、1か月後程度でどうか。

○議長 今回は報告会がなく、議会だより編集委員会が関係あるが、1か月後などどこかわらなくてもいいのではないか。

○委員長 議会だより編集委員会との兼ね合いを考慮し、日程調整をする。閉会後に行う。

確認する。6月議会後の意見交換会を行う。1日で、両常任委員会で開催、時間をずらし、議会全体でお互いの情報を共有しながら進めるという方法にする。また、テーマの掘り下げ方や、継続性を持つのか、新たなテーマを持つのかなど、議論は必要になる。その点も、閉会後にフリートークで行う。

先ほど杉崎委員が話した内容は次回行う。今回のアンケートはこのまま掲載をする。3種の資料及び、パワーポイントの資料を公開するということの承認をいただきたいと思う。

(異議なしとの声あり)

では、全員の承認をいただいたので、掲載の手続きに入らせていただく。以上で閉会とする。

閉会 10時31分